

平成 27 年度 第 2 回 横浜市鴨池公園こどもログハウス指定管理者選定委員会

【議事録】

日 時	平成 27 年 7 月 23 日 (木) 9 時～10 時
開 催 場 所	都筑区総合庁舎 5 階 第 1 会議室
出 席 者	荒田委員、大澤委員、佐藤委員、竹迫委員、名和田委員長
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開 (傍聴者 1 人)
議 題	1 面接審査 2 採点審査 (指定候補者の決定)
決 定 事 項	特定非営利活動法人つづき区民交流協会を第 3 期指定候補者に選定した。
委員意見等	<p>確認事項</p> <p>1 第 2 回委員会における審議施設及び申請状況について 第 2 回委員会では、鴨池公園こどもログハウスの指定候補者を選定することを確認した。 特定非営利活動法人つづき区民交流協会 (以下「応募団体」という。) から応募があり、欠格事項には該当しないことを事務局から報告した。</p> <p>2 面接審査の進行について 応募団体による 15 分間のプレゼンテーションの後、15 分間の質疑応答を行うことを確認した。</p> <p>議 事</p> <p>1 面接審査</p> <p>(1) プレゼンテーション 応募団体から説明</p> <p>(2) 質疑応答</p> <p>(委 員) ログハウスで育成した若いスタッフを他の施設に異動させ、人材育成を行うとあるが、実績はあるのか。 (応募団体) 毎年他の施設への異動がある。本人の希望に基づき、地区センター等へ異動し、活躍している例がある。</p> <p>(委 員) ログハウスの職員に求められる資質はどのように考えているか。 (応募団体) 子育て経験者、保育所や幼稚園で働いたことのある人、PTA 活動などを経験されている人などがよいと考えている。</p> <p>(委 員) 同じ公園で実施しているプレイパークとの連携の具体例はどのようなものか。 (応募団体) ログハウスの事業である「かもっこ」に来た親子対象に、プレイパークのスタッフも一緒に工作をし、それを使ってプレイパークで遊んだりしている。水鉄砲づくりやたき火でパンを焼く等楽しんでいる。プ</p>

レイパークで遊んでいた子がログハウスに流れてきたりなどもある。

(委員) 区のこども青少年育成計画については、どのような意見をお持ちか。

(応募団体) 居場所のない利用者や、周りをつながりのない親子に対し、関係づくりを進めていこうとされていることについては、大変ありがたいと考えている。

(委員) ログポイント導入の効果はどうか。

(応募団体) 大変好評で、3か月で800人のカード登録があった。ポイントをもらうため友達と競ってログハウスに来る状況がある。ポイントを集めると、景品というほどではないが、ログ祭りでのポップコーン無料配布や賞状を差し上げるなどを行っている。

(委員) 区の子育てネットワーク会議には参加できているか。

(応募団体) スタッフ全員でやりくりし、業務としてスタッフが参加している。

(委員) この場を借りて、区への要望などはあるか。

(応募団体) 空調設備が貧弱で、夏及び冬が厳しい。特に乳幼児には厳しいので、区で検討していただけるとありがたい。

(委員) 認定NPO法人であるが、寄付の状況はどうか。

(応募団体) かなり集まっている。利用者の方から、自分たちの施設として大切に思っていたき、協力をいただいている。今のところログハウスには募金箱は置いていない。

(委員) 「なおし隊」について具体的に教えていただきたい。

(応募団体) 各施設に技能を持った職員がたくさんいる。大工仕事が得意な方などを中心に、所属施設だけでなく他の施設にも派遣し、修理などを行っている。

(委員) 1日160人から170人の利用ということだが、もっと利用を増やすのか。キャパシティは大丈夫か。

(応募団体) 実際厳しいところはある。特に土日はぎりぎりの状況。子ども同士でも、他に行く場所の情報交換などはしているようである。

(委員) プレイパークの方にも頑張って開催を増やしてもらおうとか。

(応募団体) 今もかなりの頻度で開催している状況ではある。子どもたちが外で遊んで、ログハウスの中で休むこともあり、その逆で、中の子どもを外へ案内しているときもある。

2 指定候補者の選定

特定非営利活動法人つづき区民交流協会を指定候補者とする。(355/500点)

3 講評

団体として基盤がしっかりしており、安心感がある。加えて、工夫した取り組みを行っており、施設が地域交流拠点となるよう努めている点を評価し、指定候補

	者として十分であると判断した。
--	-----------------